KAKUDAI

不凍水栓柱

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、不凍水栓柱をお買い求めいただき、
まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用前に、この「安全上のご注意」を
よくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- 必ず実行していただく「強制」を示します。
- してはいけない「禁止」を示します。
- 気をつけていただきたい「注意」を示します。
- 「分解禁止」を示します。

施工上のご注意

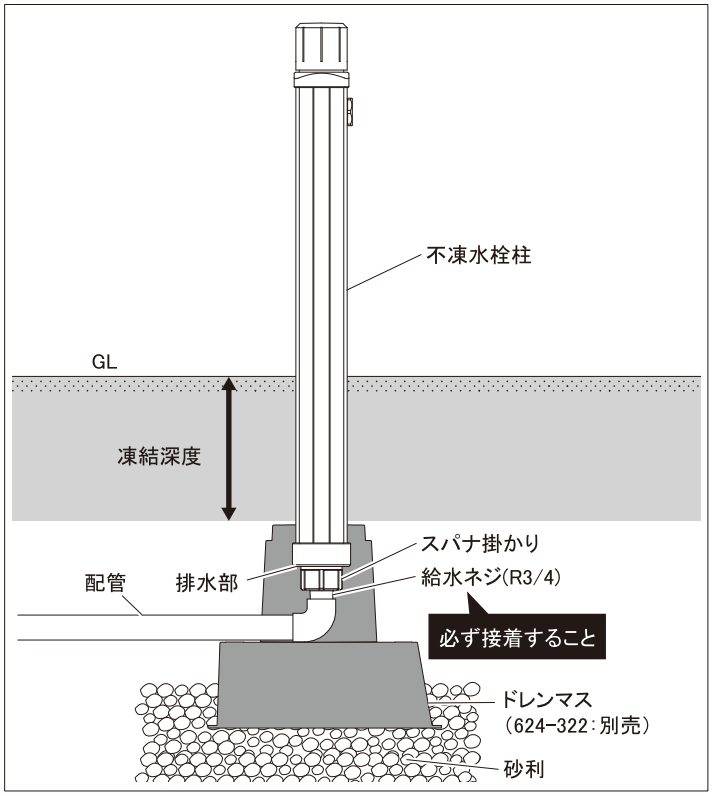
必ず実行	●ドレンマスまたは砂利・砕石などを使用し、水はけの良い場所に設置してください。排水不良により凍結し、器具破損および漏水を引起こす恐れがあります。 ●排水部が凍結深度以下になるように設置してください。埋設が浅いと凍結し、器具破損および漏水を引起こす恐れがあります。 ●本品は落雪などの危険がなく、安定した場所に確実に設置してください。設置が不完全ですと、倒れて破損する恐れがあります。 ●本品の上方は操作や修理がしやすいように、十分な空間(不凍水栓柱の本体長さ以上)を確保してください。 ●本品は、必ず元栓を取付けた配管に設置してください。 ●本品と組合わせて使用する水栓(別売)は、必ず寒冷地仕様(固定コマ)の水栓をご使用ください。 寒冷地仕様以外の水栓をご使用になると、ハンドルを開けても空気が入らず水が抜けないため、凍結し器具破損および漏水を引起こす恐れがあります。 ●配管内のゴミや砂等は、完全に洗い流してください。 ●施工後の確認を必ず行ってください。
禁止	●温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。 ●本品や配管などにアースを取らないでください。腐食や漏水の原因となります。
注意	●施工前に輸送中の破損がないかご確認ください。 ●給水ネジの保護キャップは施工直前まで外さないでください。ゴミなどの異物が混入し、作動不良や漏水の原因となります。

使用上のご注意

必ず実行	●冬期は凍結破損防止のため、本体内の水抜きをしてください。 ●不凍水栓柱と一次側配管の接続の際は十分な接着を行ってください。接着が不十分な場合、点検等で内部一式をゆるめる際に接続部のネジ(R3/4)が一緒にゆるんでしまう恐れがあります。
禁止	●本品には電気解氷機を使用しないでください。解氷を行うときは不凍水栓柱のハンドルを上に引抜いて外し、穴の中へぬるま湯を注いでください。また、解氷には熱湯を使用しないください。本品が破損する恐れがあります。 ●お手入れの際、クレンザー等の目の粗い洗剤やたわし、または酸性・アルカリ性・塩素系洗剤・ベンジン・油等は使用しないでください。表面を傷めたり、破損の原因となります。
注意	製品にもたれる等無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。
分解禁止	分解・改造はしないでください。故障の原因となります。

取付方法

1. 不凍水栓柱を取付けます。



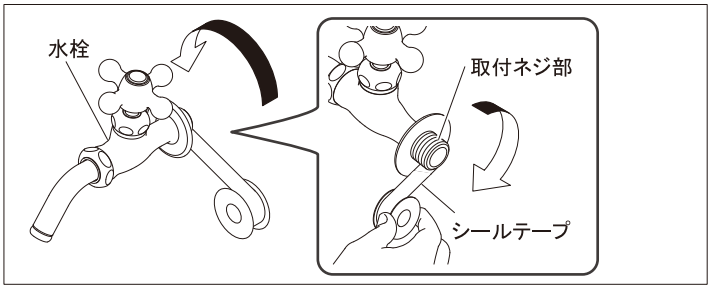
本品下部の給水ネジ(R3/4)に配管を接着接続してください。

必ず実行	●排水部が凍結深度以下になるように施工してください。 ●配管への接続時は給水ネジ(R3/4)上部のスパナ掛かりに工具を掛けてください。故障や漏水の原因となります。 ●ドレンマスまたは砂利・砕石等を使用し、水はけの良い場所に設置してください。排水不良により凍結し、器具破損および漏水を引起こす恐れがあります。 ●本品の上方は操作や修理がしやすいように、十分な空間(不凍水栓柱の本体長さ以上)を確保してください。 ●不凍水栓柱と一次側配管の接続の際は十分な接着を行ってください。接着が不十分な場合、点検等で内部一式をゆるめる際に接続部のネジ(R3/4)が一緒にゆるんでしまう恐れがあります。
注意	配管内へゴミ等の異物の混入がないよう、ご注意ください。

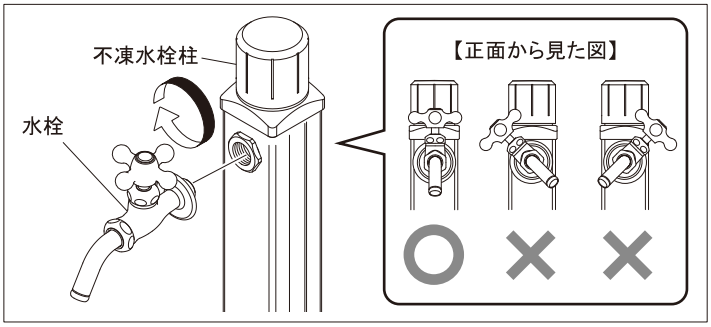
裏面へ続く➡

取付方法(つづき)

2. 水栓(別売)の取付けます。



①水栓の取付ネジ部に、シールテープを軽く引張りながら矢印の方向に7～8回巻付けます。



②水栓を時計回りにまわしながら、不凍水栓柱本体にしっかりと取付けます。正面から見て水栓が傾いている場合は、一度取外してシールテープの巻き数を調節してください。

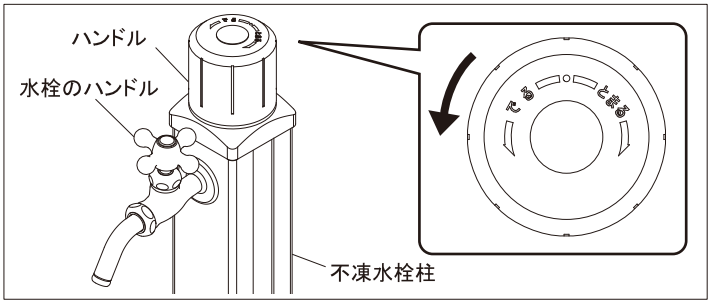
必ず実行	●水栓は寒冷地仕様(固定コマ)をご使用ください。 ●水栓を不凍水栓柱に無理にねじ込まないでください。破損する恐れがあります。 ●水栓を取付ける際、逆方向にまわしてゆるめますと漏水の原因となります。ゆるめてしまった場合は、もう一度①からやり直してください。

施工後の確認

元栓を開き、各部に水もれがないかご確認ください。
水もれが発見された場合は、元栓を閉じ、水もれする箇所を施工し直してください。
また、使用方法 の「 水抜方法 」を参考に、水が抜けることをご確認ください。

使用方法

通水および吐水・止水方法

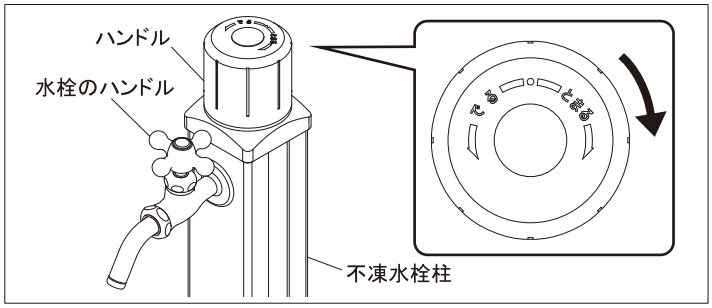


①水栓のハンドルが閉じていることを確認し、不凍水栓柱上部のハンドルを「でる」の方向へ最後までまわします。
②水栓のハンドルで吐水・止水の操作をします。

必ず実行	止水する場合は、必ず水栓(別売)のハンドルで操作を行ってください。
注意	吐水直後は勢いよく水が出る場合がありますので、ご注意ください。

使用方法(つづき)

水抜方法



①水栓のハンドルが閉じていることを確認し、不凍水栓柱上部のハンドルを「とまる」の方向へ最後までまわします。
②水栓のハンドルを開き、水抜きを行います。
＊吸気音もしくは水の抜ける音がしているかご確認ください。
③水抜きが終わったら水栓のハンドルを閉じます。

必ず実行	水栓にホースを接続している場合は、必ずホースを取外してから水抜きを行ってください。ホースが付いたまま水抜きを行うと、汚水が逆流したり、空気が取込めず水抜きが十分されない恐れがあります。

●水と住まいの接点
株式会社カクダイ
本 社　〒550-0012　大阪市西区立売堀1-4-4　☎(06)6538-1124

0521HG
M-I2823C

無断転載・複写を禁ず